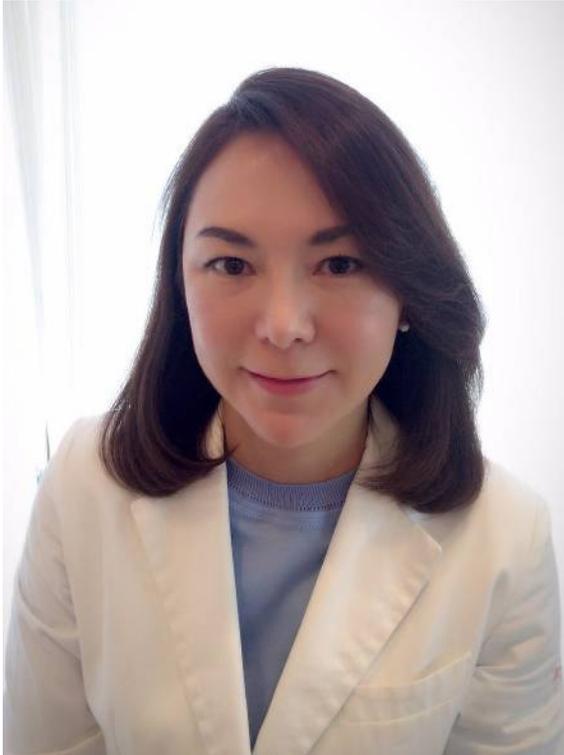


# 訪問歯科診療を利用してみませんか？

～杉山デンタルクリニックの杉山院長に伺いました～



従来は医療機関やクリニックで患者さんを診ていた歯科医や歯科衛生士が通院困難な方を訪問し虫歯の治療や入れ歯の調整、口腔ケアを行うのが「訪問歯科」。今回はバナナ園グループの入居者の皆さんの訪問歯科診療をお願いしている杉山デンタルクリニックの杉山院長にお話を伺いました。

Q：先生やスタッフの皆さんにはいつも当社施設の入居者様、スタッフがお世話になっています。今回はあらためて「訪問歯科と口腔ケア」についてお話を伺います。

杉山：歯科医の場合どうしてもクリニックに行って目の前に大きなう臼のある治療台(ユニット)に座り、切削器具(エンジンと呼ばれる)があって…、のイメージがあり、それをどうして自宅？と思う方が多いのでしょうか、一般の方々にとってはまだ馴染みがうすいかもかもしれません。しかし、介護保険の導入以降、在宅で介護をされている方を中心に患者様が広がってきています。

Q：とは言っても、実際治療に必要な機材等はどうされるのでしょうか？

杉山：ご安心ください!! 訪問歯科の場合、虫歯治療をはじめ様々な口腔ケアに対応できる持ち運び可能なポータブル型のユニット(治療機器セット一式)を使用致します。一昔前のユニットは重く大きく、準備にも多くの作業を要しました、しかし最新の機器はポータブル型といっても、虫歯部分の切削や治療、歯石の除去、入れ歯の調整など、様々な治療に対応できる器具がセットになっており、通院する場合と遜色のない治療をすることが可能になっています。多くの患者様に自信を持って向き合えるのは機器の進歩のおかげもあるのです。

Q：さて、在宅で診療される患者様はどのような方が多いのでしょうか？

杉山：利用するにあたり、介護保険のように「要介護〇以上」といった条件はありませんが「患者本人が単独では通院出来ない」こと「利用する診療所(クリニック)から16km以内」と言う条件になりますので、必然的に地域の高齢者、しかも要介護状態の方が90%以上となります。虫歯や入れ歯の調整は勿論ですが、多いのは「口腔ケア」を必要とされる患者様です。

Q：「口腔ケア」は医療や介護に携わる人たちの間ではその重要性は認識されていると思いますが？

杉山：高齢者本人や一般の方々にはまだ理解に至っていないのが現実、ご本人様は「ワは三食後には必ず歯磨きをしちよる!」、ご家族様は「おばあちゃんは総入れ歯だから口腔ケアなんか必要ない!」と言う方が普通です(笑)。

Q：さて、具体的な口腔ケアとは？

杉山：まず、広い意味で「口腔ケア」は二つに分類されます。歯磨きや歯垢清掃、虫歯の治療などの歯周病や虫歯の予防、口の中をきれいにする事で肺炎やその他の疾患を防ぐのが目的の「器質的口腔ケア」。そしてもう一つは口腔機能(食べる・飲み込む・味覚の改善・表情を豊かにする)を維持したり、増進させることが目的のリハビリ的な「機能的口腔ケア」です。これは高齢者の施設やデイサービスなどで行われる「パ」「タ」「カ」「ウ」の発声練習や舌の運動なども含まれます。

杉山由希子院長、大学卒業後勤務医の経験を通り 2008年出身地の横浜市港北区日吉に「杉山デンタルクリニック」を開院。地元で社会貢献を、という思いから「軸となる診療を考えたときに、高齢者の歯科診療を主にしよう!」と、決心したと話して下さいました。歯科医師会では地域医療委員会の委員としても活躍中

Q：さて、何故、あえて高齢者に口腔ケアが必要と言われるのでしょうか？

杉山：虫歯治療を含め口腔内の機能、健康維持が必要なのは健常者にも必要です。しかし高齢者の場合「唾液の分泌量の減少」「歯の摩耗」「歯茎のやせ」「あごや舌の運動機能の低下」など体のほかの部分と同じように、口の中にもさまざまな老化現象が起こっています。更に免疫力が落ちると、口腔内の「ばい菌」(「ばい菌」は誰の口腔内にも存在します)が肺に入り、時として「誤嚥性肺炎」を起こします、また最近の研究では歯周病にかかっていると脳梗塞/心筋梗塞のリスクが高まるという報告もされています、あまり関係がないように思えますが、歯周病菌の一部が口腔内の傷から血液中に入りこむことが原因とも考えられています。要介護状態の方は勿論、高齢者の場合たとえ歯磨きが自立している場合も、実際は十分磨けておらず、口腔内が不健全な場合が非常に多いのです。

Q：家庭では口腔ケアに関しどのような注意をすれば良いのでしょうか？

杉山：まず一番の基本は「歯磨き」です。歯ブラシだけに頼らず歯間ブラシなどを利用することも必要です。更に歯磨きの後に舌をキレイにします、歯ブラシや専用の器具を使って、舌の上と上あごを奥から手前に力を入れすぎずにかき出すようにすると良いでしょう。要介護者に関しては口腔ケアに関し援助が必要な場合が多いです、なんらかの形で歯科医、歯科衛生士等プロフェッショナルのアドバイスや口腔ケアをお勧めします。

Q：さて、どのような手順で「訪問歯科診療」を利用すればよいのでしょうか、また「口腔ケア」をして頂くとどれ位の費用がかかるのでしょうか？

杉山：定期的に歯科に通院をされている方はまず、その主治医の先生に「訪問診療」をしていただけるか相談をしてみる事です。また在宅で介護サービスを利用しているのであれば担当のケアマネジャーに相談するのが良いでしょう、因みに私共への紹介の80%は地域のケアマネジャーさんの紹介です。最近在宅医からの依頼・相談も増えてきています。介護保険の準備をすること(場合によって)など、必要な相談に応じてくれます。口腔ケアに関しては介護認定を受けている方で介護保険+医療保険を利用、月に4回程伺って月額負担が6000~8000円程度(1割負担の方の場合の概算：歯科治療は含みません)になります。診療でお宅に伺うと「もう歳だから」「家族に迷惑をかけたくない」とあきらめている方が多いのが大変気になります。歳をとっても、要介護状態になっても自分の口で噛んで、食べることは人間の最大の喜びの一つです。「口腔ケア」でもう一度「楽しく食事をする」喜びと「良くおしゃべりをし笑うこと」を取り戻して欲しいと思います。



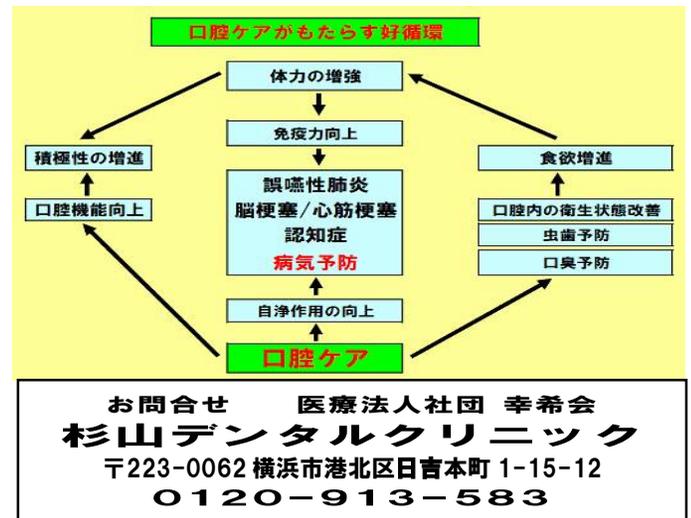
これがポータブル型の診療ユニット、小型のユニット程もない。これで診療室と同じようにあらゆる治療に対応できる。



ユニットの治療機器部分↑患者一人ひとりに滅菌処理をした機器が使われる↓



院長を含め歯科医師7名、歯科衛生士5名、歯科助手2名、事務担当2名で、港北区、中原区を中心に300人の患者宅を訪問。殆どの患者が高齢者という。



～幸区のグループホーム「第2バナナ園」より～

## 「火事だ! 火事だ!!」～夜間想定避難訓練実施～

2月20日川崎市幸区のグループホーム「第2バナナ園」で夜間を想定した「避難訓練」を行われました。これは、全国の高齢者施設で火災による痛ましい事故が相次いで起きているため、消防署指導の下、年2回の避難訓練が法令で義務付けられているものです。特に夜間帯はスタッフの数が少なく、万が一の場合、近隣住民のお力を借りる他ありません。そのような時も踏まえ、日頃から地域に開かれたホーム作りを目指して参りました。

当日までに「防火管理者」のスタッフを中心に綿密な計画と住民の皆様への協力をお願いと事前説明会を開催。参加住民の方に避難誘導と入居者代役をお願いし、快く引受けてくださいました。

そして当日は8名もの住民の方々が参加。消防署署員の火事の合図と共に訓練スタート。出火はお風呂湯脱衣所で洗濯物が何らかの原因で出火したことを想定。夜勤スタッフは出火場所を特定し、消火(消すしぐさ)、消防署へ連絡後、近隣に向け「火事だ! 火事だ! 避難してください!」と叫び、当ホームが緊急事態であることを伝達。助けが来るまではスタッフで救出。しかし歩行困難な方もおり、スムーズにはいきません。その間、近隣住民の方々が駆けつけ、2階から外までの誘導を代わる代わる誘導してくださいました。

終了後は皆様を交えての振り返り。消防署署員からは今回出火から避難完了まで10分かかったことと、出火時の確認と連絡が抜けてしまったことを指摘されました。「いざとなると慌ててしまい、パニックになってしまう」とスタッフ反省談。しかし、「これだけの大人数の方々が駆けつけることは大変素晴らしい」とお褒めもいただきました。参加住民の方からも「これだけ多くの人を呼び込める第2バナナ園さんに感動しました!」と称賛の声もあがり、当施設としても今後の自信となりました。

火事を起こさない努力は必須ですが、万が一に備え、今後もスタッフ丸となって「防災力」そして「地域力」を向上させてまいります。



←夜勤者の「火事だ～」の声に駆けつけてくれた近隣住民の方、2階非常口階段から入居者役を誘導。実際は歩行困難な方もいらっしゃるの、緊張を要する場面。当日は近隣住民8人の方が役割を書いたカードをぶら下げ訓練に参加して下さった(左下)入居者役を無事に階下におろし初とする住民の皆様(右下)。



～中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」より～

## 平凡なれど充実の一日!!

朝9時「おはようございます!!」と、日勤スタッフが出勤した時から、中原区のグループホーム、バナナ園ほりうち家入居者様の一日がスタートします。スタッフを急かすように10時のお茶、コーヒーの準備を始める方、お掃除・洗濯物たたみをしてくださる方に分かれ、朝から大忙しになります。それが終わると「あと何かすることないかしら?」と自ら声をかけてくださいます。逆にスタッフから「朝からこんなに働いてお疲れになりませんか?」と尋ねると「仕方がないわよ、私達のおうちじゃない。」と話され、女性の方は大忙し。少し手持ち無沙汰にしていた男性陣もそんな女性陣の働く姿を見て、テーブルやお盆を拭いてくださったり女性陣の手伝いを始めたり、最近は洗濯物のたたみ方もお上手になりました。スタッフの「丁寧にたたまれますね～」の問いに「昔はこんな事絶対にしなかったんだけどな～すっかり上手になってしまったよ(笑)」と恥ずかしそうに顔を赤らめて笑われます。昼食が終わり、午後になると夕食の買い出し、そして夕食づくりと、あっという間に日暮れ時。夕食後は9人の入居者様は好きな時間を過ごします。テレビを観る方、新聞に目をとおす方、音楽を聴かれる方 etc. 各々ゆったりと過ごされます。しかし皆様、ほどなく日中の活動のせいかウト外されスタッフの声かけで20時頃にはほぼ皆様就寝をされます。

こんな平凡な日常がバナナ園ほりうち家の一日。一般的な介護施設では「掃除」「洗濯」「調理」は通常スタッフの業務です、グループホームではご入居者様を巻き込み、このような作業と一緒に頂くことも生活リハビリとして取り入れています。いずれの業務もスタッフの手による方が効率的で怪我等のリスクも少ないのですが、あえて時間をかけてでもご入居者様にさせていただきます。勿論できる方、その方の能力の範囲を見極めながら。グループホームの介護ではこのように心身の状態に合わせた役割を見つけ出し、生活の中にも張り合いを持ち、生き生きと生活をして頂きます。



←スタッフと一緒に夕飯の準備「味付けは任せておいて」

洗濯物の干し方にも実は流派があるのよ!!→



←駅前のスーパーまでお買い物、楽しいひととき!

すっかり洗濯物のたたみ方上手になりました→



### バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか? 介護スタッフ募集中

★介護は7行イア～未経験だからこそその7行イアが必要です!

#### ■募集要項

★職種:ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与:① 月給:193,000円～<夜勤5日含む>

② 時給 950～1,100円<介護福祉士>夜勤1回 15,000～16,000円

※ 別途処遇改善加算交付金あり

★時間:9:00～17:00 17:00～翌9:00

★待遇:社保・有休・交通費規定内支給:月額 50,000円迄

★勤務場所:当社各施設 10箇所の中から通勤し易い場所を選べます。

●問合せ:(株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117



### バナナ園グループ

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386
  - 第2バナナ園 ☎044-587-1773
  - バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101
  - バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
  - のんびりす等々力 ☎044-750-9203
  - のんびりす ☎044-422-2295
  - バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599
  - バナナ園生田の社 ☎044-789-5691/5692
  - バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693
  - バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634
- 【ばなな会新丸子:在宅介護】
- ばなな会デイサービス新丸子 ☎044-712-5946
  - ばなな会ケアプラザ新丸子 ☎044-712-5945

### グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)  
通算第148号 編集:株式会社アイ・ディ・エス  
川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119  
<HP> <http://www.bananaen.com/>